

# サステナビリティ・ポリシー Sustainability Policy

(一社) 小豆島観光協会

# 持続可能な観光について

## 持続可能な観光とは

観光を通じて地域の持続可能性を高めるためには、永続的に地域が活気のある状態で将来に渡り繁栄し続けることが必要です。そのためには、観光振興によって多くの観光客が訪れ、地域経済が活性化、その経済効果が地域住民の暮らしに反映されている一方で、観光客の急激な増加による好ましくない影響、例えば観光客の混雑による地域住民の日常生活への悪影響、騒音やゴミの増加といった環境面での悪影響などが、一定範囲内に抑えられている必要があります。

このように、観光による地域への影響は多岐に渡りますが、持続可能な観光の実現に向けて注視すべき要素としては「環境」「社会」「経済」の3つを挙げるのが一般的です。

なお、世界観光機関（UNWTO）では、持続可能な観光について以下のように定義しています。

持続可能な観光開発の方針とマネジメントの実践は、マスツーリズムやニッチ市場向けの多様な観光をはじめ、あらゆるタイプの観光地で、あらゆる形態の観光に適用することができる。持続可能性の原理は、観光の発展における、環境、経済、社会文化的な側面に関わっており、長期間の持続可能性を保証するためには、これら3つの領域間で適切な均衡がとれていなければならない。

従って、持続可能な観光は：

- 1) 環境資源を最適に利用しなければならない
- 2) ホストコミュニティの社会・文化的真正性を尊重しなければならない
- 3) 持続可能な長期的経済活動を保証しなければならない。

(UNWTO発行「持続可能な観光指標に関するガイドブック」より)

1)～3)が「環境」「社会」「経済」に対応しており、地域が観光を通じて持続可能であるためには、観光客を多く集めて経済効果を生むだけでも、逆に海や山などの自然資源を保護するだけでも成立せず、3つの要素のバランスこそが重要となっています。

# 持続可能性の方針

当協会では、持続可能な観光地づくりを行うことの重要性を認識し、環境的、社会文化的、経済的に責任ある観光地づくりを行います。

観光による有益な影響（機会）を最大化するための改善につとめ、有害な影響（リスク）を最小化または排除することに取り組みます。

私たちの持続可能な観光地づくりの方針は、以下の通りです。

## 環境（Environmental）

- 観光商品の開発・イベント等の実施において、環境への悪影響を防止、削減、排除します。
- 当協会会員による廃棄物管理、節水、省エネルギー、生分解性製品の使用を中心とした環境保全活動を推進します。
- 観光事業における再生不可能な資源の使用を最小限に抑えます。
- 持続可能な観光の原則について、会員のモチベーションを高め、トレーニングを行います。
- 従業員に対して、協会内の環境活動に関する役割と責任について、定期的な指導、研修、情報提供を行います。
- 会員、地域住民、観光客の環境保全に関する意識を高めます。
- 地域の自然地域、保護地区、野生動物の生息地、動植物種の保護を支援します。
- 自然や生態系の保全・保護のための対策について、観光客に情報提供を行います。

## 社会（Social）

- 地域社会における良好な社会的、環境的、経済的関係を維持します。
- 当協会会員や地域住民も参加できる社会貢献事業を通じて、地域社会の持続可能な発展（経済的、社会文化的、環境的）を推進します。
- 地域社会の生活の質の向上（環境的、社会文化的、経済的）を推進します。
- 観光活動を行う会員のために継続的なトレーニングの機会を創出します。
- 従業員のための適切な仕事を維持し、より健康的で快適な環境づくりを推進します。
- 当協会の持続可能性に関する方針やプログラムを、会員、行政、地域住民、その他関係者に周知します。

## 経済（Economical）

- 会員や地域住民にとって、より大きな経済的利益を創出します。
- 観光活動のすべての関係者に公正な支払いを行います。
- 観光事業における持続可能性のビジョンを共有し、質の高い観光市場を獲得します。
- 地域社会の歴史的・考古学的遺産、地域文化、伝統、特性を明確にし、促進します。
- 持続可能性（社会文化、経済、環境）、住民満足度のすべての分野で継続的な改善に取り組みます。
- 地域住民とのつながりを深め、地域文化、社会、環境問題への理解を深めることで、観光客により楽しい体験を提供します。